

令和2年度 消費生活相談の概要

1. 相談の状況

○相談総件数

1,693件（141件/月）

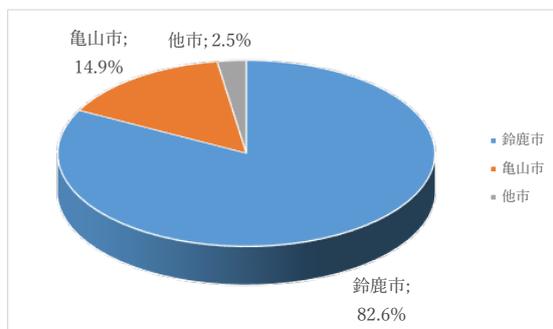
前年度比107.6%， 120件増加

○相談者の住所別

鈴鹿市 1,399件

亀山市 252件

他市 42件

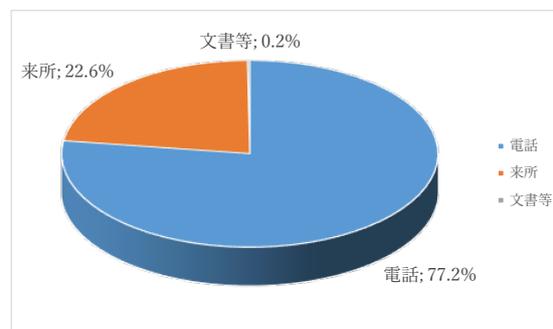


○相談方法別

電話による相談 1,307件

来所による相談 382件

文書等による相談 4件

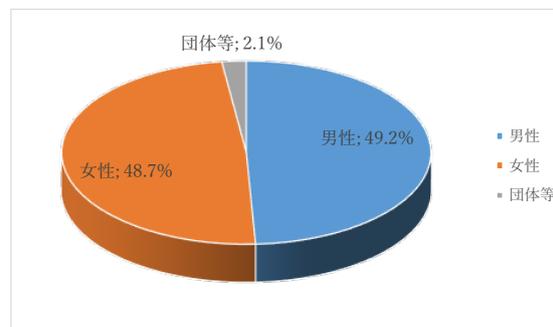


○性別

男性 833件

女性 824件

団体等 36件



○年代別

20歳未満 43件

20歳代 113件

30歳代 159件

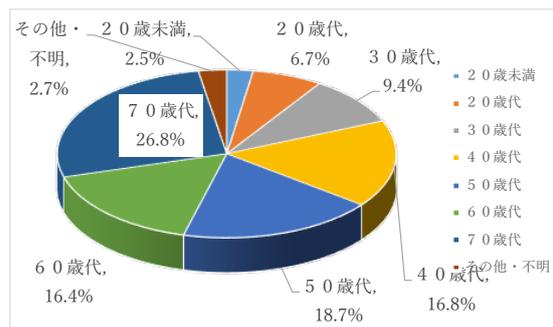
40歳代 284件

50歳代 317件

60歳代 277件

70歳以上 454件

その他・不明 46件



○弁護士相談件数

52件

2. 相談の内容

○不審な電話・訪問・郵便物に関する相談：191件（前年度263件）

不審な電話や訪問の他、架空請求のハガキが届くなどの相談。

○電子媒体（パソコン・スマートフォン）における架空請求・不当請求：

161件（前年度143件）

メールで「利用料金の未払い」を請求されたという架空請求に関する相談や、副業サイト・アダルトサイト・出会い系サイト業者による不当請求、オンラインゲームの課金などに関する相談で、幅広い年齢層で上位を占めている。

○健康食品に関する相談：115件（前年度93件）

ネット通販で安いと思って購入したら定期購入契約だった。注文していない健康食品が届いた。SF商法。解約したいが連絡が取れないなどの相談。

○インターネット通信サービスに関する相談：76件（前年度64件）

大手電話会社を名乗る所から、「光回線の料金が今より安くなる」と言われ契約したがやめたい。その他、違約金やキャッシュバック、プロバイダ変更に関する相談。

○不動産等賃借に関する相談：75件（前年度62件）

主にアパートの退去時における多額の修繕費の請求や、賃貸住宅の修繕トラブルなどに関する相談。

3. 啓発活動

○出前講座

公民館教室、老人会、サロン、まちづくり協議会、地区社会福祉協議会、保育所、小学校PTA、高等学校、大学等

鈴鹿市 38回（ 735人）

亀山市 5回（ 77人）

合計 43回（ 812人）

※他：新型コロナウイルス感染症の影響により、6月から開講